

<はじめに>

—昨年9月に策定・公表した「大阪府行財政計画(案) (以下、計画案といいます。)」は、おおむね10年間の展望した府政改革の基本方針ですが、危機的な財政状況などを踏まえ、スピードある改革に努めるため、平成14年度から16年度までの3カ年を「集中取組期間」と位置付け、できることは先送りせず、どんどん着手することとしたところです。

この考えの下、昨年2月、その時点における当面3カ年の具体的取組内容を「改革工程表」としてとりまとめ、府民の皆さんに明らかにするとともに、「集中取組期間」中、毎年度、当該年度の取組実績と次年度以降の取組について取りまとめ、公表することといたしました。

大阪府では、府政を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するとともに、一日も早く府政の再生を実現するため、平成14年を「改革元年」とし、計画案の着実な取組はもちろんのこと、取組の前倒しや早期具体化、さらなる改革にも取り組んでいます。

今回、昨年の「改革工程表」をもとに、平成14年度の取組実績と15・16年度の取組内容について、平成15年2月時点における進捗状況を取りまとめました。

今後も引き続き、機敏な対応を心がけ、行財政改革のたゆみない推進を図ってまいります。

なお、取組の前倒しや早期具体化、さらなる改革の取組については、別に「大阪府行財政計画(案)進捗状況 前倒し・さらなる改革等について—《平成14年度版》」においてもとりまとめております。